

北海道の

学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 黒澤 敏行
 事務局長 渡部 浩士
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
 印刷所 (株) 有 伸 商 会
 TEL (011)814-6211

第43回北海道学校図書館研究大会旭川大会を終えて

オール旭川で臨んだ旭川大会

旭川大会運営委員長 藤 原 淳

(旭川市立旭川第五小学校・桜岡中学校長)



10月4日(金)、5日(土)の2日間、全道各地より250名に及ぶ参加者にご参集いただき、第43回北海道学校図書館研究大会

旭川大会を無事終了することができました。これまでの道のりは決して平坦なものではなく、何度となく「行き詰まっては止まり、解決の道を探っては進む」を繰り返してきました。その度に関係諸機関及び北海道学校図書館協会の皆様からご指導やご助言をいただくことにより、当日にたどり着きました。参加者の皆様よりいただいた多くの讃辞は本研究大会に携わった者すべてで分かち合うべきであると考えています。

2年前の札幌大会閉会式に旭川市学校図書館協会、加藤宏明 前会長が協会旗を引き継いだ時より旭川大会がスタートしました。旭川大会が北海道学校図書館協会創立70周年の節目にあたることを踏まえ、その重責を感じながら引き継ぎのあいさつを聴きました。

旭川に戻るとすぐに大会運営の準備が始まりました。旭川市学校図書館協会はこのような大きな大会を運営するには会員の年齢層が若いうえに圧倒的に会員数が少ないという状況でしたので、過去の資料をめぐりながら手探りで準備を進めました。経験不足を補うため、大会運営委員を引き受けてくださいました旭川市内の校長先生・教頭先生方からの手厚い支援をいただきました(これは当日まで続きました)。リーダーに導かれ、会員個々の経験値は少なくとも機動力、パワーにより幾多の困難を乗り越えてきました。

研究面では、連綿と続いてきた北海道学校図書館協会による研究の流れを引き継ぐとともに新学習指導要領の実施に象徴される新しい教育の動向、そして旭川の伝統

のバランスをとりながら研究、実践を積み重ねてきました。大会を引き継いだ時点では9名の授業者は揃っていませんでした。旭川市教育研究会国語部会に足を運び、研究の趣旨や研究大会の意義を伝えることにより公開授業を引き受けてくださる授業者、学校が現れました。この協力により研究体制が整えられ、研究部主導の学習会が繰り返し開催され、旭川らしい授業が形成されてきました。研究面でも大会運営委員である校長先生・教頭先生方に多大なご指導をいただいたことは言うまでもありません。

旭川市では全小中学校に学校司書が配置されています。本研究大会では、いくつかの研究授業では学校司書が支援者として名を連ねています。セッションでの発表や会場での展示物からは学校司書の活躍が各学校の授業や読書活動を支えていることが十分理解されたと思います。

加えて、各学校より選出されている学校図書館連絡員が本研究大会に参加し、大会運営の一翼を担いました。連絡員が大会で学んだことが各学校に還流され、実践に結びつくことを強く望みます。

まさにオール旭川での取組を2日間にわたり参加者のみなさんにご覧いただきました。アンケートでは研究内容の評価とともに大会運営に関する労いの言葉を少なからず頂戴しました。本研究大会で得た成果は今後の活動を進める上での大きな自信となりました。

最後になりますが、本研究大会を推進するにあたり、ご指導・ご支援いただいたすべての方々への感謝の思いを重ねて申し上げますとともに2年後の函館大会で再会できることを期して私の言葉を締めくくります。

本研究大会に関わった皆様、本当にありがとうございました。

第43回 北海道学校図書館研究大会旭川大会に参加して

学校図書館の協働 ～旭川市学校司書として～

旭川市立愛宕中学校 学校司書 松川 亜希子

この度の北海道学校図書館研究大会は、地元旭川での開催となり、公開授業会場校の学校司書として参加させていただきました。

本校では中学校「資料の活用」の授業が公開され、学校司書として、資料の提供、授業会場に使用するための館内整備を行い、支援者として授業へも参加をさせていただきました。この授業公開に向けては、単元を通して学校図書館を使用して授業が行われ、毎時間の授業に参加する中で、どのような資料が不足しているのかをその時間に気づくことができ、すぐに次の授業への資料の準備を行うことができました。平常であれば、授業者の依頼を学校司書に伝えるまでに時間を要したり、授業内容の一部だけを聞いて準備する資料に、イメージの相違があったりということも起こりますが、単元を通して授業に参加していることにより、共有する情報が増え、それがスムーズな支援につながったのだと感じました。

資料の提供については、計画的に準備をしましたが、すべて自校で賄うには難しい状況があり、不足した資料については、日頃より市内学校図書館と連携して支援をしてくれている旭川市公共図書館の団体貸し出しなどを利用しました。それでも準備できなかったものについては、旭川市学校司書のネットワークを活用し、市内の学校図書館から借りることで準備することができました。

公開授業のほかに、今大会では、セッションの一つで旭川市学校司書の活動が紹介されました。道内の学校司書の配置状況はまだまだ厳しいものですが、旭川市は市内の小中学校すべてに(兼務はありますが)学校司書が配置されています。2005年からモデル事業として始まった学校図書館補助員の配置が、現在は小学校53校、中学校24校の合わせて77校に、52名の学校司書が配置されるまでになっています。その旭川市の学校司書が日常行っている学校図書館活動を紹介する展示も、セッションの発表に伴い全体開場前に行われ、参加の皆様にご覧いただくことができました。

今大会の開催が、地元旭川で開催されたことで、多くの旭川市学校司書も研究大会に参加することができ、たくさんの方の学びをさせていただきました。そして、「学びを支え、豊かな人間性を培う学校図書館」となるために、私たち学校司書も、より一層の研鑽を積んでいかなければならないとの思いを強くしたところです。

～できることから少しずつ～

砂川市立石山中学校 司書教諭 金子 智里

学校図書館司書教諭という仕事をするようになってまだ3年目という新米な私ですので、いろいろ勉強したいなという気持ちから今回の旭川大会にも参加させていただきました。

1日目は、緑が丘中学校2年生の国語の授業を参観しました。同じ2年生を受け持っている身としては、グループごとにプレゼンテーションを行うために、静かに話し合いができることに驚きました。また、教室にはそれぞれのテーマごとに調べられるような本がたくさん置いてあり、こんなにたくさん本が準備できるのは、学校司書さんがいらっしゃるのと、市内のネットワークがしっかりしているからなのだろうと感心させられました。

私などは、プレゼンテーションの資料を作るときには、パソコンのプレゼンテーションソフトを使うことが多いのですが、今回は「情報カード」を使っただけの作業というのがとても新鮮に映りました。今後、「情報カード」も使用してみたいと思いました。

セッションでは、子ども富貴堂さんのお話を聞きました。ほとんどの方が立ち寄ったことのあるというこの書店に私はまだ、行ったことがなく、少し寂しい思いがしました。実は、私の住んでいるご近所にも私設の「文庫」があり、そこにも行ったことがなかったということを思い出し、「図書館に携わるものとしては、近くにあるところはやはり、一度は見学に行くべきだ」と決意を新たにしました。

2日目の講演会は、堀川真さんのお話をとても楽しく聞くことができました。さっそく家に置いてある『わくわく地図えほん』を見直してみようと思いました。また、11月にはテレビに出られるということだったので、それも楽しみにしています。

会場では、先生の『たぶん、なんとかなるでしょう』とトートバックを購入し、サインをしていただけたことは、今回の大会の最もうれしい出来事でした。

たくさんの方のお話を聞くたびに、「すごいなー」「おもしろそうだなー」「やってみたいなー」という気持ちが増すのですが、現在の私の状況は、複数の教科を持って、市内の仕事もあってとかなり忙しく時間がない状態です。毎日、昼休みに図書館を開けるのだけが精いっぱいという感じで、司書教諭としての仕事はほとんどできていません。やはり、分掌的には軽いところと思われる学校がまだまだあるようです。

学校に勤務する期間も残り少なくなりましたが、できることから少しずつやっついこうと思った今回の大会でした。

関係のみなさま、ありがとうございました。

確信した「学びの支え」～学校図書館

美幌町立美幌小学校 司書教諭 添 田 佐奈枝

2年に1回、全道各地で開催される学校図書館の研究大会をいつも楽しみに参加させて頂いています。この研究大会に参加して、いつも「全道には同じように学校図書館のことでがんばっている人がいる！」と元気をもらって帰ることができます。今回の旭川大会もたくさんの元気をもらって帰ってきました。

まず、1日目の公開授業では旭川北光小学校の5年生の読書指導「伝記を読んで、自分の生き方について考えよう」に参加させて頂き、多くを学ばせてもらいました。教材文を基本に「心に残った文はどこか？」について意見交流し「同じ所でも人によって感じ方が違う」と読書の素晴らしさを学んでいました。さらに学校図書館や公共図書館を利用した『並行読書』で読んできた「偉業を成し遂げた人」のことに「心に残った出来事」を探し出し、書き写し、さらに意見を交流するところまでやり遂げていました。授業には、学校司書さんも参加し、読みの内容でどこを選んでよいか分からない子にアドバイスをしていました。素晴らしい集中力と、日頃からの読書の積み重ねがあつてこそだと感じました。反省の時に授業者の谷村先生から①子どもが読んでいた並行読書は教材文と同じような構成になっている本を事前に選んでいたこと。②選書した本は一度全部読んでみた・・・とお聞きしました。先生の事前準備も子どもたちの「読書で自分の意見をもてる力」につながったのだと思いました。またさらに、③他の単元でも学校図書館を利用し、本の帯を制作したものも学校図書館に展示していること④学校司書と協力・連携して授業を行っていること⑤学校全体で『必読図書』と言って1年生から読んで欲しい本を決めていること…のお話も聞きました。やはり、学校図書館を利用した一つ一つの学習の積み重ね、そして、1人ではできない事も、学年で…さらに学校全体で取り組む人の積み重ねが大事だと感じました。

2つ目に学校司書さんが作った展示品です。おみくじやオリンピックのマークのクイズなど、普段の何気ないものがこういう風に展示してあったら、「学校図書館に行くことが楽しくなるな～」と実際に体験して思いました。来やすい学校図書館・授業で使いやすい学校図書館を作っていこうという一生懸命さが伝わってきました。

学校図書館は「人」がいないと機能しない・・・そのことを旭川大会でより確信しました。

オホーツクからはたくさんの仲間が参加させて頂きました。今回の研究会参加が刺激になって、オホーツクでも学校図書館に人がより多くの時間いられるよう、そして日々の授業に取り入れていけるよう即啓蒙・即実践に力を入れていきたいと思えます。

本の世界とのつながり ～読書指導の魅力～

函館市立大森浜小学校 福 崎 梢

私は自分が小学校教諭であるため、これまでいずれの大会においても、小学校の分科会にばかり参加してきた。しかし今回は、授業は小学校の読書指導の授業を参観したが、縁あって、渡島・函館から提案する保育園と中学校の提言作りに関わる機会をいただき、都合、幼・保、小、中の3校種の読書指導の様子を見せていただける貴重な機会となった。

北光小学校で行われた5年生の授業では、教科書に掲載された伝記を読み、そこで学んだスキルを生かしながら自分で選んだ伝記を読むという展開の授業が行われた。伝記の人物を紹介するためのワークシートも丁寧に作られ、それに記入しながら学習を進めることで、児童は人物のすごさやすばらしさを楽しみながら見出すことができていた。

八雲中学校の西川先生の提言の内容は、地域の公立図書館の司書の方と連携しながら、自分がおすすめしたい本のポップ作りをするというものであった。ポップ作り自体は小学校でも経験しているが、それを想起しつつ、中学校での国語科の授業で学んだスキルを生かして表現するというものであった。

このように小・中の読書指導では、学習を通して学んだ読みのスキルを自分の読書活動に生かすという面が強く表れる。ところが今回、函館上湯川保育園の柿本先生の提言作りに関わらせていただいたり、分科会で旭川の末広こまどりさんの実践を聞かせていただく中で、幼・保では小・中とはまた違った視点での読書指導が成されていることを知り、大きな衝撃を受けた。保育園では、絵本の読み聞かせを入口として、そこから様々な活動につなげたり、子供たちの言葉への興味を喚起したりすることに、先生方が工夫を凝らし、努力されていることを知った。「絵本に出てきた〇〇みたいにやってみよう！」という子供たちの思いを大切に活動を組み立て、生活の中で絵本に出てきた場面と似たような状況になったとき、その場面に出てきたセリフや表現を子供たちに投げかけてあげたりするなど、本の世界とのつながりがとても素敵に魅力的に設定されていることに驚いた。子供たちがこういった保育を経て小学校へ上がってきていることを知り、それを引き継いだ指導をすることで、小学校の先生方はこれまでとはまた違った学びの姿を見いだせるような気がした。また、保育園の先生方の実践には、小学校で生活科や総合的な学習の時間を行う上で学べる要素がたくさん詰まっているということも、大きな発見であった。

分科会では、幼小の連携ということが話題になった。私は今回、幼・保の分科会に参加させて頂いたことで、大きな驚き、感動とともに、これまで知り得なかった読書指導の価値や魅力を知ることができ、とても勉強になった。先生方にも機会があったらぜひ、ご自分の校種とは異なる分科会に参加してみたいことをおすすめしたい。きっと、素敵な発見があるはずである。

北海道図書館大会 ～本と相手をつなぐ～

2019年9月4日・5日、教育文化会館にて北海道図書館大会が行われ、本協会担当の第5分科会にて「絵本の読み聞かせと絵本選びのコツ教えます」と題し、絵本専門士の笹山愉香氏に講師をお願いしました。

笹山氏は現在、札幌市厚別図書館でのご勤務の傍ら全道各地で精力的に絵本の魅力を伝える活動、絵本に関する講座の講師などをされています。

笹山氏より、「参加者の方々はそれぞれ立場も違うと思うが、読み聞かせは、対象によって方法が異なる。各自の活動する場で自信を持って読み聞かせをするために、読み聞かせの基礎となる実践を行いたい。何か一つでも持ち帰って、それぞれの活動の場で少しでも自信をもって読み聞かせをしてほしい。」との言葉で会が始まりました。

1. 絵本の選び方：読み手は「本と相手をつなぐ」役割を担っている。読み手の個性は、読み手の声・技術・選んだ本に現れる。「何を私はあなたに伝えたいのか…」という視点で本を選んでほしい。
2. 読み聞かせの基本：どう読むのかは、本を読みこみ本に聞く必要がある。また自分の声はどんな声なのか、声質の特性も含めて練習したい。
3. 発声の方法：五十音表の各行をはっきりと滑らかに発音できるよう、練習を行ってほしい。



などの内容を交えながら、各自持参した絵本で実践練習が行われました。

また、講師より『ほんをひらいて』トニ・モリスン&スレイド・モリスン文 シャドラ・ストリックランド絵 さくまゆみこ訳(ぼるぷ出版)の読み聞かせが行われました。参加者は食い入るように聴き入り、プロフェッショナルの所作を見せていただきました。

参加者からは、「下準備の重要性を基本から教わりました。」「絵本の選び方や声で絵本のタイプを決めるというのが新鮮だった。」「内容も深くとても勉強になりました。」などの声が寄せられました。

(文責：札幌市立稲積中学校 学校図書館司書 遠藤 薫)

北海道学校図書館協会 事業部副部長

故 谷口初江先生を偲んで

平成31年4月23日、谷口初江先生がご逝去されました。享年61歳でした。

谷口先生は、本協会が主催する大会の中に、高等学校の視点、学校図書館司書の問題を取り上げるなど、先進的なご活躍をされました。事務局の仕事においては、研究部と事業部を掛け持ちして担当してくださいました。研究部では、道研修講座、北海道高等学校図書館研究会や全道研究大会などを担当され、事業部では、読書感想文コンクールの諸業務を受け持って支えてくださっていました。読書感想文コンクールに関わる入賞者名簿の作成をはじめ、細やかなお仕事の仕方は、後進のロールモデルでありました。常に総務的な視点をもってお仕事をしてくださり、事務の省力化やシステム化にも道をつくってくださいました。

歴代の勤務校においては学校図書館司書として、図書館運営とサービスに全力を尽くされていたと聞き及んでいます。札幌北高等学校に在職されていたころ、「中・高生のための学校図書館利用テキスト」を共同で執筆し刊行されました。学校図書館に関する研究団体にも所属し、積極的に学校図書館を巡る課題の改善に力を尽くされていました。

事務局会議で、学校司書という仕事の来し方行く末を熱く語られていた姿が今でも心に残っています。自分の仕事を拡張することにためらわない献身的なお仕事ぶりに、心から尊敬しておりました。どれも先生の視点の正しさ、熱意とお人柄の生んだものだと思います。北海道学校図書館協会に、長くご尽力いただき、ありがとうございます。谷口初江先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

(北海道学校図書館協会 会長 黒澤敏行)

第31回読書感想画コンクール・第7回全道コンクール募集要項

- 1 主催 公益社団法人全国学校図書館協議会 毎日新聞社 北海道学校図書館協会
- 2 後援 北海道・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会・北海道読書推進運動協議会・北海道国語教育連盟・北海道造形教育連盟
- 3 対象図書 (1) 自由読書(推薦「北海道青少年のための200冊」)(2) 指定読書(主催者が指定した図書)
上記の中から本を選び、その読後感を感想画で表現する。
- 4 応募締切 **令和元年12月25日(水)**
- 5 応募資格 北海道内の小学校・中学校・高等学校に在学する児童生徒
満20歳以下に限る。(1999年4月2日以降出生)
- 6 作品規定 ※感想画用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでも可。
(ワク貼りキャンバスや木製パネルなど厚みのある作品は不可)
作品の寸法は、36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下(8つ切～4つ切)とする。
※画材は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可。
(ただし、立体など厚みのあるものを貼付した作品及び破損しやすい作品は審査の対象としない。)
※作品の裏面に、応募票・作画感想(200字以内)を貼付すること。(用紙は中央コンクール応募要項のものを使用)※作画感想は原則として自筆とする。
※募集要項に合わないもの、読んだ本にある絵をまねたもの、ポスター、映画・DVD等の場面をまねたものは審査の対象としない。
- 7 応募に当たって
※一人で自由読書・指定読書それぞれ各1点応募できる。
※応募作品の著作権・出版権は主催者に帰属し、原則として作品の返却はしない。
※作品は必ず在籍校に提出し、学校単位で応募すること。
- 8 応募先 ㊦060-8643 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日新聞社北海道支社
『第31回読書感想画コンクール・第7回全道コンクール』係
電話011-281-5252 FAX011-251-3551
- 9 審査 主催者が委嘱した審査委員により行う。
- 10 審査区分 ①小学校低学年(1・2・3年)の部 ②小学校高学年(4・5・6年)の部
③中学校の部 ④高等学校の部
- 11 賞 1) 個人賞
①最優秀賞 ②優秀賞 ③優良賞 ④奨励賞
2) 学校賞～上記の①②③を受賞した児童生徒の在籍校の中で優秀と認められる学校
※各部位上位各4点(自由2点・指定2点)、合計16点を北海道代表作品として中央コンクールに提出する。

	◎指定図書(書名)	著者名	出版社	価格(税別)
小学校	エレベーターのふしぎなボタン	加藤 直子(作) 杉田 比呂美(絵)	ポプラ社	1,000円
	キツネのはじめてのふゆ	マリオン・デー・パウアー(作) リチャード・ジョーンズ(絵)横山 和江(訳)	鈴木出版	1,500円
低学年	くもとそらのえほん	五十嵐 美和子(作・絵) 武田 康男(監修)	PHP 研究所	1,300円
	たてる:こうじのえほん	サリー・サットン(さく) ブライアン・ラブロック(え) あらや しょうこ(やく)	福音館書店	1,300円
小学校	スペース合宿へようこそ	山田 垂友美(作) 末崎 茂樹(絵)	文研出版	1,300円
	おばあちゃん、わたしを忘れてもいいよ	緒川 さよ(作) 久永 フミノ(絵)	朝日学生新聞社	1,200円
中学校	モノ・ジョーンズとからくり本屋	シルヴィア・ビショップ(作) 三辺 律子(訳) 平澤 朋子(絵)	フレーベル館	1,400円
	クジラのおなかからプラスチック	保坂 直紀(著)	旬報社	1,400円
中学校・高等学校	徳治郎とボク	花形 みつる(著)	理論社	1,400円
	南西の風やや強く	吉野 万理子(著)	あすなる書房	1,400円
	マレスケの虹	森川 成美(作)	小峰書店	1,500円
	子犬たちのあした:ロンドン大空襲	ミーガン・リスク(作) 尾高 薫(訳)	徳間書店	1,600円
	これからを生きる君へ	天野 篤(著)	毎日新聞出版	1,200円

2019年度 / 北海道の先生がおすすめる本

北海道指定図書

小学校中学年の部



きくち駄菓子屋

かさい まり / 作 しの とうこ / 絵
アリス館 定価1,200円+税
引越してきて、僕の最初の友だちは、きくち駄菓子屋のじいちゃん。小学校4年生の浩介とじいちゃんの心温まる話。



みずとはなんじゃ?

かこ さとし / 作 鈴木 まもる / 絵
小峰書店 定価1,500円+税
あさおきて、かおをあらう水。うがいをしたり、のんだりする水。水とはどんなものなのでしょう? 科学する心を育む絵本。



ナージャの5つのがっこう

キリーロバ・ナージャ / 文 市原 淳 / 絵
大日本図書 定価1,400円+税
ページをめくるたびに国々の様子にびびり幼い頃生活した国々の学校生活を筆者本人を主人公に楽しく描いた絵本。

中学校の部



泥

ルイス・サッカー / 作 千葉 茂樹 / 訳
小学館 定価1,400円+税
タマヤたちの学校は立ち入り禁止の森に囲まれていた。森でいったい何が起きているのか? これまでにない近未来パニック小説!



パパはわるものチャンピオン

ノベライズ
板橋 雅弘 / 著 藤村 享平 / 脚本
岩崎書店 定価1,300円+税
パパの仕事を知らないショータ。こっそりパパの仕事を探っていくと、なんとわるものレスラー!? 映画化された感動物語。

小学校低学年の部



きのうをみつけない!

アリソン・ジェイ / 作・絵 蜂飼 耳 / 訳
徳間書店 定価1,800円+税
楽しかったきのうにもどりたいけど、どうやったらできるかな? おじいちゃんにきいてみたら...? 未来への希望を描く。



たったひとつのドングリが —すべてのいのちをつなぐ—

ローラ・M・シェーファーとアダム・シェーファー / 文
フラン・プレストン・ガノン / 絵 せな あいこ / 訳
評論社 定価1,400円+税
たったひとつのドングリが木に育ち、たくさんの動植物の命をささえていることを、シンプルな言葉と美しい絵で伝えます。



あめだま

ペク・ヒナ / 作 長谷川 義史 / 訳
プロンズ新社 定価1,500円+税
「リモコンがはさまって痛い」と椅子の音が。あめだまを食べると聞こえる心臓の音。人気作家が描く少年の成長物語。



バッタロボットのぼうけん

まつおか たつひで / 作
ポプラ社 定価1,500円+税
ふしぎなロボットによって、ジャングルや海などの大自然を冒険。世界中の生き物の知識と、好奇心がつまった絵本です。

小学校高学年の部



メロンに付いていた手紙

本田 有明 / 文 宮尾 和孝 / 絵
河出書房新社 定価1,300円+税
メロンに付いていた手紙から始まった2人の小学生の交流。東京と夕張、それぞれの素晴らしいさに出会うひと夏の物語。



赤はな先生に会いたい!

副島 賢和 / 著
金の星社 定価1,400円+税
入院中の子どもたちへのケアの大切さに気づき、院内学級の先生になった! 生きる勇気を与えてくれるノンフィクション。



みんながって、それでいい パラ陸上から私が教わったこと

宮崎 恵理 / 著 重本 沙絵 / 監修 ポプラ社 定価1,300円+税
パラリンピックメダリストが自身の障がいと向きあい、受け取った過程と、夢に向かって進む姿を描くノンフィクション。

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。
詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

● ホームページ [北海道学校図書館協会](#) [検索](#)



北海道の本を読みましょう!

第65回 青少年読書感想文全道コンクール 第45回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催 / 北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社
■後援 / 北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力 / 北海道読書推進運動協議会

第52回北海道学校図書館研修講座のご案内

—北海道学校図書館協会 創立70周年記念—

主催 ●北海道学校図書館協会
後援 ●北海道教育委員会
 札幌市教育委員会
趣旨 ●学校図書館の運営及び情報資源を活用する学びの指導、並びに読書指導に関する基本的事項について理解を深めるとともに、学校図書館の目指す方向と役割についての見識を深め、学校図書館の機能の向上を図ることを目的とする。
日時 ●令和2年1月7日(火)～9日(木)
会場 ●北海道立道民活動センター (かでの2・7)
 札幌市中央区北2条西7丁目 ☎(011)204-5100
 ●札幌市立向陵中学校
 ●札幌市立発寒中学校
 ●札幌市中央図書館
参加資格 ●学校図書館及び読書指導・学びの指導に関わっている方ならどなたでも参加できます。
定員 ●150名
参加費 ●4,000円(資料代を含む)
参加申込 ●参加ご希望の方は、研修講座参加申込書に必要事項を記入して、12月2日(月)～12月13日(金)の期間内に以下のどちらかでお申し込みください。
 <インターネットでのお申し込み>北海道学校図書館協会ホームページの「北海道学校図書館研修講座」から研修参加申込書をダウンロードし、必要事項を入力して申し込み用アドレスへ送信してください。
 <FAXでのお申し込み>インターネットでのお申し込みが難しい場合、研修講座参加申込書に必要事項を記入してFAXにてお申し込みください。
 申込先 FAX(011) 661-3571
 札幌市立宮の丘中学校 浅村 麻姫子

- A. 共通講座**
講演 「心弾む学校図書館のために ～学校図書館ガイドラインに込めた思い～」
 青山学院女子短期大学 教授 堀川 照代
- B. 選択講座：ファーストコース**
1. 講義 「管理・運営」
 札幌市立もみじの森小学校 司書教諭 安藤 理恵子
 2. 講義 「図書館活動」
 北海道札幌西陵高等学校 教諭 加藤 孝志
 3. 講義 「読書指導」
 札幌市立上白石小学校 司書教諭 山田 佳子
 4. 講義 「情報資源を活用する学びの指導」
 江別市立第二小学校 司書教諭 井上 陽子

- C：選択講座：ステップアップコース**
1. 講義・実習 「楽しく進める情報活用能力の育成」
 (公社)全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 佐藤 敬子
 2. 講義・実習 「ステップアップ・読書アニメーション」
 札幌市立藻岩北小学校 司書教諭 佐藤 広也
 3. 講義・実習 「プロに学ぶ伝え方のコツ」
 フリーランスアナウンサー・朗読家 五十嵐 いおり
 4. 講義・実習 「つないで、つないで、ブックトーク」
 北海道学校図書館協会 選定部長 山本 裕子
 5. 講義・実習 「一日まるごとクリニック」
 旭川市立愛宕中学校 司書教諭 加藤 直子
 6. 講義・実習 「資料の更新」
 北海道学校図書館協会研究部 新田 裕子
 7. 講義・実習 「レファレンスの基本」
 札幌市中央図書館 利用サービス課 調査相談係
 熊谷 梨沙 川口 歩
 8. 講義・交流 「学校司書の仕事：分担と連携」
 札幌市立あいの里東中学校 札幌市立東栄中学校 学校図書館司書
 児玉 優子
 9. 講義・実習 「年間計画を作ろう」
 (公社)全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 佐藤 敬子

- D. 校種別選択講座**
1. 討議 「図書館資料の活用とその指導～小学校」
 共和町立西陵小学校 司書教諭
 渡邊 晋子 松林 純
 2. 討議 「図書館資料の活用とその指導～中学・高等学校」
 北見市立高栄中学校 主幹教諭 齊藤 靖恵
 3. 討議 「図書館資料の活用とその指導～特別支援」
 札幌市立平岡小学校 教諭 浅野 絵美

- E. ナイター**
1. こんな本あるよ！
 2. 図書館グッズを作ろう
 3. 北海道ブックシェアリングの活動
- F. 指導者研修講座(全道研究部長会)**
1. 第43回北海道学校図書館研究大会(旭川大会)反省
 2. 支部研究交流
 各支部研究部長
 北海道学校図書館協会研究部長 山田 佳子(札幌市立上白石小学校 司書教諭)
 北海道学校図書館協会事務局長 渡部 浩士(札幌市立稲積中学校 校長)

～研修日程～

1月7日(火)〈かでの2・7〉〈札幌市立発寒中学校〉

9:30	10:00	10:25	12:00	13:15	13:30	14:40	16:30	18:00	20:00	
受付	開講式	A. 講演	昼食	B1. 管理・運営	B2. 図書館活動	E1. こんな本				
				C1. 情報活用能力の育成(発寒中)	F1. 研究部長会					E2. 図書館グッズ
				C2. アニメーション						E3. ブックシェアリング

※受付は4階大会議室で行います。直接お越しください。

1月8日(水)〈かでの2・7、札幌市立向陵中学校、札幌市中央図書館〉


9:30	12:00	13:15	13:30	14:45	16:30	18:00
C3. 伝え方	昼食	B3. 読書指導	B4. 学びの指導	懇親会		
C4. ブックトーク		C7. レファレンス(中央図書館)				
C5. クリニック(向陵中)		C8. 学校司書				
C6. 資料の更新		C9. 年間計画				
F2. 研究部長会						

1月9日(木)〈かでの2・7〉

9:30	11:30	11:50
D1. 討議〈小〉	閉講式	
D2. 討議〈中・高〉	閉講式	
D3. 討議〈特別支援〉	閉講式	

懇親会は、本の話や図書館の悩みなどを気軽に話し合える場になりたいと思います。たくさんの参加をお待ちしています。

学校図書館情報



10/27～11/9は
読書週間

公益社団法人
読書推進運動協議会

◆「おかえり、
葉の場所で待ってるよ」
2019年 第73回 読書週間
10月27日(日)～11月9日(土)



今年の標語は、「おかえり、葉の場所で待ってるよ」でした。作者の水口真優子さんは、「日々の時間と環境は、ときには私を置いて行ってしまいうほど早く過ぎ去ってしまうときもあるけれど、ほっと開いた本の世界は、私の帰りを待ってから進んでくれる…ひとり暮らしをはじめ、昔以上に本が好きになりました」と標語の背景にある思い

を語っています。また、ポスターイラストをつくった、富山涼さんは「つねになにかに追われる毎日、疲れちゃいますね。そのなかでいつも待っていてくれるのが本です。開いてあげれば、笑わせにきたり、泣かせにきたり、さまざまな感情に連れていってくれます。そんな本のこと、私は好きです」とコメントしています。

今年度は本紙発行日が読書週間の後になってしまいましたが、読書週間をきっかけに読書の素晴らしさを再確認していただけたらと思います。

◆第7回学校図書館協会

inオホーツク研修会のお知らせ

- ・日時 11月22日(金)12:50～17:00 その後夕食交流会
- ・場所 北見市立高栄中学校 学校図書館
- ・講師 三谷智恵子氏 (旭川市立学校 学校司書)
- ・参加費2,000円 (会員の方1,000円)
- ・夕食費、宿泊費は別途徴収です。
- ・問い合わせ 美幌町立美幌小学校 添田佐奈枝まで (0152-73-2019)

日程

12:30	12:50	13:00	14:40	16:30	17:00	18:30
受付	開会行事	<研修1> 講演 旭川市学校司書 三谷 智恵子 様	<研修2> ワークショップ 「まわしよみ新聞」	実践交流 情報交流	移動	夕食交流会 「四季千幹」 おすすめ本紹介

内容	12:30～12:50	受付
	12:50～13:00	開会行事
	13:00～14:30	研修1：講演「みんなでつくる学校図書館」 講師 三谷智恵子様
	14:40～16:20	研修2：ワークショップ「まわしよみ新聞」
	16:30～17:00	実践報告・情報交流会 開会行事 (移動)
	18:30～	夕食交流会「四季千幹」にて「おすすめの本」の紹介

持ち物 ・実践・情報交流で皆さんにお知らせしたい文書があれば、20部程度、持参してください。
・「まわしよみ新聞」で、「はさみ」を使用しますので、各自ご用意ください。
・夕食交流会の際、「おすすめの本」を紹介し合います。
・「今年子どもに読んでよかった本」をお持ちください。また、自分が読んだ本を紹介したい本も数冊可です。冊数は自由ですが、時間の許す範囲での紹介となります。

事務局

事務局長 渡部 浩 士 (札幌市立稲積中学校)

事務局校 札幌市立稲積中学校

〒006-0814 札幌市手稲区前田4条5丁目2-1

TEL 011-684-1430 FAX 011-684-5738

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

◆新刊紹介 みんなで学ぼう 学校教育と著作権

～著作権の基本から指導まで～

森田盛行・著 全国学校図書館協議会 発行
定価2,700円(税別) ISBN: 978-4-7933-0099-8

本書は日々創作物を利用して教育活動を担う教員、学校図書館の経営・管理・活用を支援する司書教諭・学校司書と学校図書館担当教員、そして学校図書館を支援して下さる学校図書館ボランティアの方々、さらに公共図書館等の生涯学習を支える方々を対象に、学校教育における創作の意義に対する理解を広め、人の創作物に対して敬意を持って接し、その創作物を学習活動等に利用するときを知っておくべきこと、留意すべきことについて著作権を中心にわかりやすく解説した本です。著作権研修や児童生徒への指導略案も提示し、学校現場で直面する著作権に関する37の疑問にQ&A形式で答えてくれます。著作権教育に必携の書です。



編集後記

朝夕めっきり冷え込むようになり、いよいよ秋が深まってまいりました。今年は全国あちこちで水害の悲しいニュースが相次ぎました。皆さまお変わりございませんか。本号は、10月に行われました旭川大会の様子を中心に、様々な大会・行事についてお知らせしました。読書週間は終わりましたが、子どもと本をより一層近づける実践を積み上げていきたいものです。

(編集: 村山 知成 杉本 操 野村 邦重)
大久保雅人 渡部 浩士

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>